

研究課題番号	5-2002
研究課題名	環境化学物質の複合曝露による思春期の健康影響評価と曝露源の検討
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	荒木 敦子

## 1. 委員の指摘及び提言概要

北海道スタディを通じて環境化学物質の分析法開発と児に対する曝露、健康リスク評価まで行う重要な研究であり、PFOS等の環境リスク等への成果の活用も期待される。環境省の他のエコチル調査や海外での同様調査とも連携して進めることが望まれる。生活用品からの複合曝露について、その起源や因果関係について明確にされることが期待される。

ただし、複合曝露の影響を評価する際、化学物質への曝露時間、影響を及ぼす曝露期間など、統計処理による解析を進めるだけでなく、メカニズム等の考察も望まれる。多数物質の複合曝露で得られた結果が必ずしも因果関係を示すものではない点で解釈に注意が必要である。

## 2. 採点結果

評価ランク：A